

介護保険特別会計

介護保険特別会計 概要

1 要介護認定者と介護給付の状況

令和6年3月末における第1号被保険者数（65歳以上）は30,688人で、前年の同時点より0.3%増加しました。増加率は前年と0.1%増加となりました。

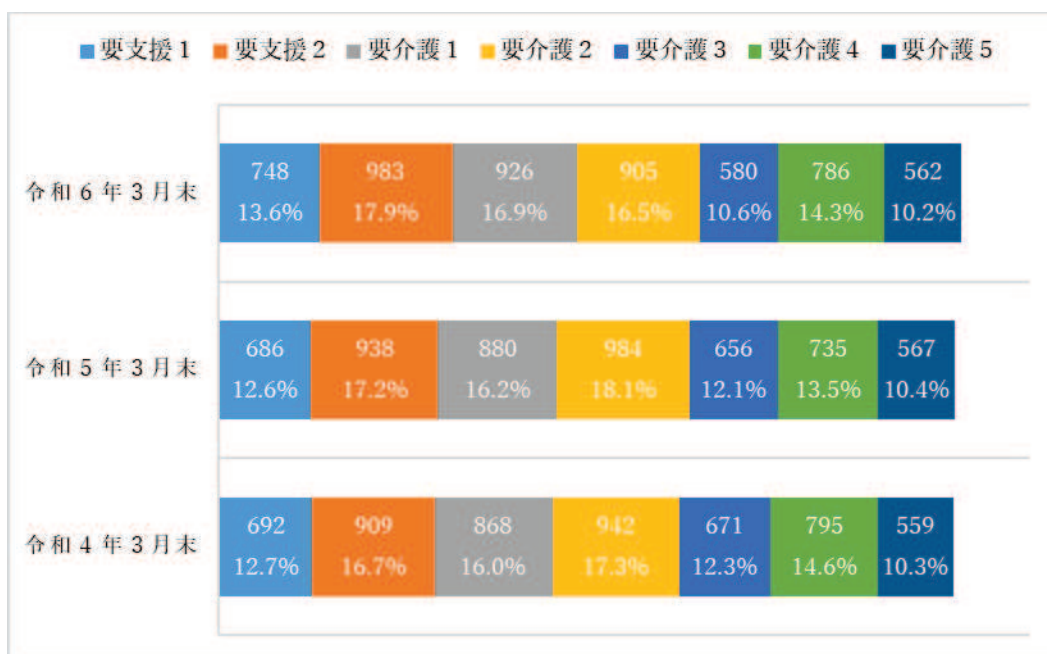
第1号被保険者数の推移(介護保険事業状況報告) (人)

	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末
65歳～74歳	14,073	13,470	12,939
75歳～84歳	10,584	11,198	11,787
85歳以上	5,888	5,937	5,962
合計	30,545	30,605	30,688

また同時点の、第1号被保険者における要介護・要支援認定者数は、5,490人で、前年に比べ44人（0.8%）増加しており、ここ3年間は増加しています。第1号被保険者数に対する認定者数の割合（認定率）は、17.89%と前年の17.79%に対して0.1%増加しました。

また、介護度別にみると、要支援・要介護1・2の認定者数は3,562人で前年に比べ74人増加しました。介護度の高い認定者数（要介護3～5）は1,928人で前年に比べ30人減少となりました。

第1号被保険者の要介護認定者数の推移(介護保険事業状況報告) (人)



介護給付の受給者は、居宅サービス等の受給者が3,664人で前年より26人増加、地域密着型サービス受給者は1,088人で前年より32人減少、施設サービス受給者が830人で前年と横ばいとなりました。

介護給付の受給者(介護保険事業状況報告)(人)

	令和4年3月分	令和5年3月分	令和6年3月分
居宅介護(介護予防)サービス受給者数	3,670	3,638	3,664
地域密着型(介護予防)サービス受給者数	1,158	1,120	1,088
施設介護サービス受給者数	848	830	830

2 介護予防・日常生活支援総合事業の状況

この事業は、要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防又は要介護状態の軽減若しくは重度化防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりが活動的で生きがいのある生活を送ることができるようになることを目的としています。

総合事業各年度の3月末における利用者数(人)

サービス種類	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
訪問介護相当サービス	244	236	268
訪問型サービスA	87	81	71
通所介護相当サービス	611	666	757
通所型サービスA	81	71	61
合計	1,023	1,054	1,157

介護予防普及啓発事業の参加延べ人数(人)

サービス種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度
拠点介護予防教室	386	439	588
認知機能向上教室	354	421	513
複合型介護予防教室 (運動機能向上教室)	1,685	1,630	1,827
口腔機能向上教室	542	525	291
介護予防体操動画配信事業	—	—	34
合計	2,967	3,015	3,253

3 歳入歳出の状況

(1) 決算額

	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額
歳入総額	9,838,844,548 円	9,925,408,585 円	10,121,514,791 円
歳出総額	9,602,227,344 円	9,700,938,238 円	9,831,042,171 円
歳入歳出差引額	236,617,204 円	224,470,347 円	290,472,620 円

(2) 歳入

ア 主な歳入

(単位：千円)

年度	保 険 料	国庫支出金	支払基金交付金	県支出金	繰 入 金
令和5年度	2,148,706	2,364,124	2,566,424	1,423,495	1,369,791
令和4年度	2,132,166	2,309,020	2,529,099	1,355,467	1,339,908
令和3年度	2,122,639	2,302,508	2,511,759	1,396,594	1,335,697

※償還金を含む金額です。

イ 介護保険料の内訳

	年 度	調定額 ① (円)	収入済額 ② (円)	収納率 ②/①	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)
現年度分 特別徴収	5	1,979,760,380	1,981,273,280	100.0%	0	△1,512,900
	4	1,976,704,680	1,977,810,560	100.0%	0	△1,105,880
	3	1,971,255,580	1,971,879,220	100.0%	0	△623,640
現年度分 普通徴収	5	167,760,960	163,617,289	97.53%	0	4,143,671
	4	156,058,800	151,709,920	97.21%	0	4,348,880
	3	150,896,460	146,904,736	97.35%	0	3,991,724
滞納繰越分	5	9,912,236	3,816,294	38.50%	617,407	5,478,536
	4	11,131,482	2,646,308	23.77%	2,947,458	5,537,716
	3	13,034,362	3,855,528	29.58%	2,071,896	7,106,938
合 計	5	2,157,433,576	2,148,706,863	99.60%	617,407	8,109,307
	4	2,143,894,962	2,132,166,788	99.45%	2,947,458	8,780,716
	3	2,135,186,402	2,122,639,484	99.41%	2,071,896	10,475,022

* 現年度分特別徴収の収入未済額△1,512,900 円は、年度途中で死亡された方などの保険料ですが、年金保険者（日本年金機構等）への返納手続きを要する場合もあり、令和5年度末時点では還付未済となっています。

ウ 新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免実績

年度	件数	減免額
令和5年度	0 件	0 円

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	307
------------	-----

予算	款	01	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	3100010	一般管理費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12, 150, 000	12, 146, 461		0	3, 539	100. 0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12, 146, 461		介護保険審査支払等システム改修経費補助金	713, 000		
		事務費繰入金	11, 433, 461		

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 地域密着型事業所等の指導・管理 - 事業計画に位置づけた基盤整備に基づく整備 特定施設入居者生活介護（新設）24床開所 グループホーム18床（令和6年4月開所） - 令和5年度の指定更新および中間年における運営指導 指定更新 地域密着型事業所（10事業所） 居宅介護支援事業所（5事業所） 中間年 地域密着型事業所（13事業所） 居宅介護支援事業所（13事業所）	
2 介護事業者台帳システム「介護台帳LIGHT」使用 年間：令和5年4月1日～令和6年3月31日 330,000 円（使用料）	
3 介護報酬改定に伴う介護保険システム（Reams.NET）の改修 1,001,000 円 介護報酬改定に伴う地域包括支援システムの改修 426,800 円 （令和6年度介護報酬改定等に対応するための改修）	
4 特定個人情報データ標準レイアウト改版分 211,200 円 令和5年度マイナンバーの情報連携に伴い行われる、令和5年6月特定個人情報データ標準レイアウト改版に対応するため、介護保険システム（Reams.NET）の情報照会で使用する事務事務手続のマスタの最新化を行った。	
5 安曇野市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の印刷製本 605,550 円	
上記の評価と課題等	
安曇野市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画を令和6年3月に策定しました。新たに重点方針の成果指標を設定して計画の達成状況を客観的・数値的に評価できるようにしました。	

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	307
------------	-----

予算	款	01	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	賦課徴収費			
	事業	3100020	賦課徴収事務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
4,622,000		4,620,556		0		1,444		100.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
4,620,556			督促手数料		254,971				
			事務費繰入金		3,868,307				
			事務費繰越金		248,874				
			延滞金		248,404				

主要な施策（事務事業）の成果の概要		
1	納入開始通知書封入封緘業務・代行プリント・帳票作成業務委託 委託料	4,367,257 円
2	督促状 2,735 件 （前年度2,713 件）	

上記の評価と課題等
前年度と比較し、督促状発送件数が0.81%増加しました。引き続き口座振替登録を推奨する等、督促状発送件数の削減に努め、滞納額の削減を目指します。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	認定調査係

決算書 ページ	307
------------	-----

予算	款	01	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	介護認定審査会費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	認定調査費等			
	事業	3100030	認定調査費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
82,370,000		82,320,414		0		49,586		99.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
82,370,000			事務費繰入金		82,346,596					
			雑入		23,404					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護保険申請に基づき、認定調査員が認定調査票を基に本人や家族から被保険者の心身の状況および介護の状況等を聞き取り、介護度判定に必要な基礎的調査を実施しました。その調査票と主治医意見書を基に、松本広域連合にて介護度審査判定を実施していますが、認定調査員の研鑽もあり、継続して質の高い調査票作成事務を行うことができています。

1 要介護・要支援認定申請件数

年度比較	初回	区分変更	更新	再申請(外)	転入等	計
令和5年度	1,442 件	577 件	2,800 件	165 件	44 件	5,028 件
令和4年度	1,490 件	586 件	1,805 件	148 件	1,404 件	5,433 件
令和3年度	1,412 件	553 件	1,718 件	156 件	1,042 件	4,881 件

※令和3、4年度の「転入等」には、有効期間を1年間延長した2,354件を含む。

2 主治医意見書の作成依頼件数

年度比較	在宅・新規 @5,000円	施設・新規 @4,000円	在宅・継続 @4,000円	施設・継続 @3,000円	計	作成料
令和5年度	1,718 件	1,102 件	1,819 件	314 件	4,953 件	23,337,600 円
令和4年度	1,252 件	1,021 件	1,124 件	293 件	3,690 件	17,290,900 円
令和3年度	1,292 件	997 件	1,231 件	286 件	3,806 件	17,853,000 円

3 業務委託、業務受託

県外の介護保険施設等を利用する被保険者を対象に、認定調査の業務委託を現地の居宅介護支援事業所等に委託するとともに、状態が安定している更新申請の被保険者を対象に個人委託しました。また、他市町村等からの認定調査を受託しました。

(委託) 行政委託	19件	事業所等委託	30件	個人委託	977件
(受託) 行政受託	13件	2号生保受託	3件		

上記の評価と課題等

- 今後も公平・公正且つ効率的な認定調査を実施するとともに、認定調査技術の向上に努め質の高い認定調査を実施します。
- 高齢者人口の増加に伴い、申請件数も増加傾向にあります。引続き認定調査の指定市町村等事務受託法人への委託も検討するなど、認定調査結果が一日でも早く確定することが大切です。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	309
------------	-----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	介護サービス等諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護サービス等諸費			
	事業	3100070	介護サービス等諸費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,625,063,000	8,625,062,152		0		848	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
6,730,693,587		介護給付費負担金(国)		1,562,523,075	介護給付費繰入金	1,078,085,320
		介護給付費負担金(県)		1,240,496,279	現年度分調整交付金	440,077,578
		介護給付費交付金		2,328,662,235	第3者納付金	443,100
		低所得者保険料軽減繰入金		80,406,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 給付額の種類別受給者延べ人数内訳（介護保険事業状況報告）

（単位：人）

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅サービス	43,613	44,367	44,257
地域密着型サービス	13,623	13,672	13,220
施設サービス	9,924	10,101	9,913
合 計	67,160	68,140	67,390

2 給付額の種類別給付額内訳

（単位：円）

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅サービス	3,780,573,764	3,785,059,662	3,857,201,451
前年度比	101.8%	100.1%	101.9%
地域密着型サービス	1,953,677,810	1,934,577,749	1,922,532,762
前年度比	105.3%	99.0%	99.4%
施設サービス	2,782,226,932	2,838,704,796	2,845,327,939
前年度比	103.5%	102.0%	100.2%
合 計	8,516,478,506	8,558,342,207	8,625,062,152
前年度比	103.1%	100.5%	100.8%

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	介護サービス等諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護サービス等諸費			
	事業	3100070	介護サービス等諸費		施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 居宅サービス給付額の種類別内訳

（単位：円）

サービス種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護サービス費	3,101,605,479	3,104,538,080	3,174,946,198
前年度比	100.8%	100.1%	102.3%
居宅介護福祉用具購入費	9,817,562	8,053,260	8,317,354
前年度比	133.2%	82.0%	103.3%
居宅介護住宅改修費	12,624,401	11,295,311	10,163,985
前年度比	110.4%	89.5%	90.0%
居宅介護サービス計画費	412,273,417	415,870,905	405,830,492
前年度比	106.1%	100.9%	97.6%
介護予防サービス費	179,713,866	178,531,685	187,781,406
前年度比	105.2%	99.3%	105.2%
介護予防福祉用具購入費	3,106,610	3,944,539	4,467,718
前年度比	85.3%	127.0%	113.3%
介護予防住宅改修費	9,207,635	9,283,756	10,189,201
前年度比	108.9%	100.8%	109.8%
介護予防サービス計画費	52,224,794	53,542,126	55,505,097
前年度比	105.3%	102.5%	103.7%
合 計	3,780,573,764	3,785,059,662	3,857,201,451
前年度比	101.8%	100.1%	101.9%

上記の評価と課題等

総給付額は、横ばい傾向にあり、令和5年度は0.8%増加しました。居宅等サービスは受給者の人数は減少していますが、給付額が1.1%増加しています。施設サービスは受給者は減少、給付費は微増しています。特養への入所について、介護度が高い方の入所が優先されたためと思われます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	309
------------	-----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料			
	事業	3100080	審査支払手数料		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
8,725,000		8,724,592		0		408		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
6,726,581			介護給付費負担金(国)		1,580,554		介護給付費繰入金		1,090,526	
			介護給付費負担金(県)		1,254,811		現年度調整交付金		445,156	
			介護給付費交付金		2,355,534					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険団体連合会への審査委託支払金額・件数

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支払金額	8,641,130 円	8,720,648 円	8,724,592 円
対象件数	148,985 件	150,356 件	150,424 件

- ・令和5年度は前年度比0.45%増加しました
- ・審査単価 58円/1件

上記の評価と課題等

令和5年度の審査件数は前年度に比べ横ばいとなりました。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	309
------------	-----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	高額介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	高額介護・予防サービス費			
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
184,328,000		184,288,636		0		39,364		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
142,084,863			介護給付費負担金(国)		33,385,875		介護給付費繰入金		23,035,066	
			介護給付費負担金(県)		26,505,243		現年度調整交付金		9,402,981	
			介護給付費交付金		49,755,698					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

サービス利用者の1か月の費用負担（1～3割負担）が、負担上限額を超えたときに支給するものです。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給付費	179,368,465 円	176,274,578 円	184,288,636 円
対象件数	15,234 件	15,185 件	15,257 件

- ・給付費の前年度比では、令和4年度は1.7%減少、令和5年度は4.5%増加しました。
- ・対象件数の前年度比では、令和4年度は0.3%減少し、令和5年度は0.47%増加しました。

上記の評価と課題等

令和3年度の制度改正により、自己負担限度額の上限が上がり、減少傾向であったが、令和5年度は前年度より給付費並びに件数が増加しました。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	309
------------	-----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	04	特定入所者介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費			
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
167,643,000		167,642,594		0		406		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
129,250,915			介護給付費負担金(国)		30,370,265		介護給付費繰入金		20,954,402	
			介護給付費負担金(県)		24,111,132		現年度調整交付金		8,553,648	
			介護給付費交付金		45,261,468					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

施設入所者やショートステイ利用者の低所得者対策として、食費、居住費（滞在費）に係る費用の一部（利用者負担限度額と施設が定める基準額の差額）を給付しました。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給付金額	201,116,130 円	169,453,578 円	167,642,594 円
負担限度額認定者	760 人	767 人	718 人

（負担限度額認定者数は高齢者介護課調べ）

- ・給付費の前年度比では令和4年度は15.7%、令和5年度は1.1%減少しました。
- ・認定者の前年度比では令和4年度は0.92%増加し、令和5年度は6.39%減少しました。

上記の評価と課題等

給付費の減少は、令和3年度の制度改正により認定基準となる要件及び区分が改正された影響が残っていると推察されます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	309
------------	-----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費			
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
26,687,000		26,686,669		0		331		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
20,575,179			介護給付費負担金(国)		4,834,578		介護給付費繰入金		3,335,687	
			介護給付費負担金(県)		3,838,200		現年度調整交付金		1,361,637	
			介護給付費交付金		7,205,077					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

同一世帯内で1年間の医療及び介護の両制度における自己負担額の合算額が高額になった場合に、合算算定基準額の上限額を超える部分について給付しました。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給付費	24,403,500 円	25,093,655 円	26,686,669 円
対象件数	824 件	850 件	848 件

上記の評価と課題等

給付費が前年度に比べ6.35%増加したが、件数は横ばいであった。コロナ禍前の水準に戻ってきました。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	311
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	介護予防事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般介護予防事業費			
	事業	3100102	一般介護予防事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
18,002,000		17,999,732		0		2,268		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
13,859,791			地域支援交付金（新総合事業）		3,599,946		総合事業現年度分調整交付金		899,986	
			支払基金支援交付金現年度分		4,859,927					
			地域支援県交付金（新総合事業）		2,249,966					
			地域支援事業繰入金（新総合事業）		2,249,966					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

65歳以上の方が、介護予防の知識を身につけ、地域の身近な場所で、人との繋がりを通して介護予防活動に継続して取り組めるよう以下の事業を実施しました。

1 介護予防把握事業

（1）対象者実態把握

健診未受診かつ医療・介護サービス未利用等の方を対象に、訪問にて健康状態を把握するとともに、介護予防活動の普及啓発をしました。

	対象者数	訪問実施者数
令和5年度	106 人	81 人（76.4%）
令和4年度	70 人	60 人（85.7%）

令和4年度は穂高地域、令和5年度は豊科・三郷・堀金・明科地域で実施

（2）シニア歯科健康診査（新規事業）

	対象者数	受診者数
令和5年度	4,084 人	525 人（12.9%）

2 介護予防普及啓発事業

介護予防に関する啓発活動・介護予防教室・認知症予防教室・口腔機能改善事業等を行いました。教室終了後も継続して介護予防活動に取り組めるよう参加者に対して情報提供と相談支援等を行いました。介護予防体操動画配信事業（新規事業）では、オンラインによる介護予防体操動画配信コンテンツを提供し、自宅や通いの場での活用を推進しました。

年度比較		教室等講座種別数	開催回数	参加実人員	参加延人員
令和5年度	介護予防教室等	6 教室等	237 回	500 人	3,253 人
	出前講座等	3 講座	10 回	109 人	109 人
	動画配信事業*			34 人	
令和4年度	介護予防教室等	5 教室等	253 回	528 人	3,015 人
	出前講座等	3 講座	14 回	272 人	272 人
令和3年度	介護予防教室等	5 教室等	350 回	967 人	2,967 人
	出前講座等	3 講座	6 回	127 人	127 人

*3団体（1,630人）登録

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	介護予防事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般介護予防事業費			
	事業	3100102	一般介護予防事業費		施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 地域介護予防活動支援事業

近隣住民が気軽に集まり地区単位で介護予防教室等を開催する自主グループ（通いの場）の活動内容の把握を行い、必要な住民に情報提供を行いました。また、3か所で新たな自主グループの立ち上げ支援を行いました。

(1) 通いの場等の把握

年度比較	通いの場等の数	参加する高齢者数	参加率
令和5年度	321 か所	2,624 人	7.6 %
令和4年度	268 か所	2,231 人	7.4 %
令和3年度	256 か所	2,222 人	7.3 %

*参加率は、毎年4月1日高齢者人口に対する割合

*参加する高齢者数は月1回以上参加する者の人数

(2) 自主グループ活動支援事業 新規自主グループ立ち上げ支援

年度比較	実施個所数	実施回数	参加実人員	参加延人員
令和5年度	3 か所	116 回	42 人	1,361 人
令和4年度	0 か所	0 回	0 人	0 人
令和3年度	1 か所	9 回	22 人	161 人

4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

健康推進課、国保年金課と当課におけるプロジェクト会議を実施し、KDB（国保データベース）システム等の分析、健康課題、対象者の明確化など保健事業と介護予防の一体的な事業を展開しました。

当課としては、通いの場等においてフレイル全般、認知症、栄養、口腔機能向上等の介護予防講座と健康相談、後期高齢者質問票による健康状態の把握を行いました。

年度比較		開催通いの場数	回数	実人員	延べ人員
令和5年度	健康教育・健康相談※	18か所	18 回	206 人	206 人
	健康状態把握(再掲)	5か所	5 回	90 人	90 人
令和4年度	健康教育・健康相談※	19か所	21 回	342 人	342 人
	健康状態把握(再掲)	5か所	5 回	72 人	72 人
令和3年度	健康教育	5か所	14 回	79 人	145 人
	健康相談	5か所	14 回	40 人	56 人
	健康状態把握	5か所	5 回	75 人	75 人

※令和4年度からは、健康教育、健康相談を一体的に実施

上記の評価と課題等

生活面・運動面・栄養面・口腔面の機能維持向上について各分野の専門職が連携して普及啓発を行いました。シニア歯科健康診査では、集団健診から委託先での個別健診に変更することにより、受診率が大幅に向上しました。

介護予防のための体操を実施できる動画配信を新規事業として実施し、自宅や通いの場で介護予防のための運動をできる体制を整備しました。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業では、全市民を対象に健康教育や健康状態の把握、フレイル予防のためのポピュレーションアプローチを実施することができました。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	311
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費			
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円							
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
91,730,000		91,719,444		0	10,556	100.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
70,921,217			地域支援交付金（新総合事業以外）		34,814,419		
			地域支援県交付金（新総合事業以外）		17,407,209		
			地域支援事業繰入金（新総合事業以外）		17,407,209		
			介護予防サービス計画費収入		1,292,380		

主要な施策（事務事業）の成果の概要								
地域包括支援センターは、市が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、3職種のチームアプローチにより、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設です。 高齢者の身近な総合相談窓口として、中央地域包括支援センター（豊科・明科地域担当）を直営で運営し、南部地域包括支援センター（三郷・堀金地域担当）は平成23年度から、北部地域包括支援センター（穂高地域担当）は平成25年度から委託で運営しています。 1 地域包括支援センターの業務内容 （1）包括的支援事業 介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の4業務を実施しました。 （2）指定介護予防支援事業 要支援認定者及び事業対象者（介護予防のために何らかの支援が必要と判断された方）に対する介護予防支援業務を実施しました。 2 中央地域包括支援センター（担当地域：豊科・明科）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）								
事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ケアマネジメント	その他		
令和5年度	1,256		1,439	130	85	162	3,072	86.0%
	40.9%		46.8%	4.2%	2.8%	5.3%	100%	
令和4年度	1,323		1,906	88	70	184	3,571	103.1%
	37.0%		53.4%	2.5%	2.0%	5.2%	100%	
令和3年度	1,542		1,602	95	80	143	3,462	107.7%
	44.5%		46.2%	2.8%	2.3%	4.1%	100%	

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費			
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 南部地域包括支援センター（担当地域：三郷・堀金）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ケアマネジメント	その他		
令和5年度	1,943		935	76	32	20	3,006	87.3%
	64.6%		31.1%	2.5%	1.1%	0.7%	100%	
令和4年度	2,377		885	66	93	21	3,442	75.5%
	69.1%		25.7%	1.9%	2.7%	0.6%	100%	
令和3年度	3,186		1,089	100	116	67	4,558	126.4%
	69.9%		23.9%	2.2%	2.5%	1.5%	100%	

4 北部地域包括支援センター（担当地域：穂高）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ケアマネジメント	その他		
令和5年度	3,966		1,531	181	197	44	5,919	98.7%
	67.0%		25.9%	3.1%	3.3%	0.7%	100%	
令和4年度	3,678		1,820	181	304	16	5,999	103.5%
	61.3%		30.3%	3.0%	5.1%	0.3%	100%	
令和3年度	3,794		1,502	209	272	20	5,797	99.4%
	65.4%		25.9%	3.6%	4.7%	0.3%	100%	

上記の評価と課題等

支援件数の合計は3包括ともに減少していますが、権利擁護に関する相談は中央包括と南部包括で増加し、北部包括で横ばいとなっています。業務の割合については、委託包括の南部包括と北部包括では介護予防支援・予防給付ケアマネジメントの件数が最も高く、直営の中央包括では総合相談が最も高くなっています。

今後も高齢者の総合相談窓口として体制強化に努めるとともに、地域包括ケア推進に向け、委託包括と連携を図りながら各事業を継続して実施していく必要があります。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当・介護予防担当

決算書 ページ	313
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	任意事業費			
	事業	3100107	任意事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,811,000	8,804,218		0		6,782	99.9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
6,782,547		地域支援交付金（新総合事業以外）		3,383,337		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）		1,691,668		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）		1,691,218		
		雑入		16,324		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 家族介護支援事業（扶助費：7,814,060円）
重度要介護者を介護する家族等の支援を行うことを目的として実施しました。
(1) 家族介護用品購入助成事業（扶助費：7,714,060円）

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	192 人	202 人	176 人
決算額	7,655,975 円	8,114,027 円	7,714,060 円

- (2) 介護慰労金支給事業（扶助費100,000円）
令和5年度は1件の申請がありました。

- 2 介護給付費適正化事業（報償費、消耗品費：91,213円）

- (1) ケアプラン点検の実施

長野県介護支援専門員協会からの講師の派遣を受け、介護給付費の適正化のためのケアプランの点検を行いました。あわせて、該当事業所への保険者によるコンプライアンスの確保に関する点検の実施も行いました。また小規模多機能型居宅介護事業所については、点検を希望する事業所に対して点検を実施した。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
点検件数	123 件	142 件	102 件
点検を受けた介護支援専門員	34 人	33 人	26 人
点検を受けた事業所数	9 事業所	12 事業所	14 事業所

- (2) ケアプラン検証会議

訪問介護における生活援助中心型サービスの利用回数が基準回数以上のケアプランについて、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、リハビリ専門職（理学療法士）にも参加いただき、多職種協働による検証会議を開催しました。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検証会議件数	8 件	5 件	4 件

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	任意事業費			
	事業	3100107	任意事業		施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 認知症サポーター等養成事業（報償費、消耗品費：71,510円）

認知症を理解し、認知症の人と家族を支える認知症サポーターを養成する講座を開催しました。

年度比較	開催回数	参加者数	サポーター累計	決算額
令和5年度	19回	326人	7,715人	71,510円
令和4年度	14回	177人	7,461人	112,720円
令和3年度	9回	277人	7,286人	58,935円

4 介護相談員派遣事業（報償費、負担金、保険料他：767,685円）

介護サービスを利用する高齢者や家族から介護サービスに関する不安、疑問等の相談等に応じ、その解決のためにサービス事業者や行政との橋渡しを行い、介護サービスの質の向上を図るため6人の介護相談員を施設等へ派遣しています。本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、直接施設への訪問とオンライン面談を実施しました。

また、介護相談員には活動に必要な知識の習得のために研修会に参加いただいています。

年度比較	開催回数			開催施設数			
	計	訪問	オンライン	計	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	有料老人ホーム
令和5年度	47回	38回	9回	8施設	4施設	1施設	3施設
令和4年度	39回	0回	39回	7施設	5施設	2施設	—
令和3年度	25回	20回	5回	10施設	7施設	3施設	—

5 成年後見制度利用支援事業（役務費、扶助費：0円）

成年後見制度の市長申立てが必要な高齢者の審判にかかる費用負担等について、令和5年度は、対象者がありませんでした。

上記の評価と課題等

家族介護用品購入助成事業は、利用者数、利用率共に減少しましたが、家族介護者の経済的な負担軽減を図ることができています。

ケアプラン点検は、介護支援専門員の資質向上、スキルアップのために有効であり、適正なサービス提供から給付の適正化につながる効果が期待できます。

認知症サポーター養成講座について、市の主催はオレンジキャンペーン時と介護予防教室の参加者を対象とした2回でしたが、依頼等により19回の開催となりました。コロナ禍も落ち着き、申し込みも増加していますが、より多くの年代に普及啓発していけるよう、小中学校での開催に働きかけていく必要があります。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	313
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③
442, 000		441, 500		0	500
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	金額
339, 953			地域支援交付金（新総合事業以外）	169, 977	
			地域支援県交付金（新総合事業以外）	84, 988	
			地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	84, 988	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療・介護連携推進事業を実施しました。 1 在宅医療・介護連携推進事業（需用費、委託料：441, 500円） 地域包括ケアシステムの実現に向けて、切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築のため、安曇野市医師会、介護保険事業所等と協働し、在宅医療・介護連携事業を実施しています。 (1) 安曇野市医師会への委託業務（委託料：45, 500円） 在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために事業の一部を医師会へ委託する中で、在宅医療連携推進協議会全体会議を1回開催し、在宅医療・介護連携のための情報共有、課題について意見交換を行いました。 (2) 安曇野市介護保険・高齢者福祉サービスガイドの増刷（需用費：396, 000円） 在宅医療・介護連携のために、令和4年度に作成した「安曇野市介護保険・高齢者福祉サービスガイドブック（連携マップ付き）」を600部増刷し、関係者へ配布しました。	
上記の評価と課題等	
在宅医療連携推進協議会を開催し、情報共有、課題の意見交換をし、地域包括ケアの取組につなげました。令和6年度から第9期介護保険事業計画が始まるため、介護報酬改定や介護保険料の見直しを踏まえて、「安曇野市介護保険・高齢者福祉サービスガイドブック（連携マップ付き）」を更新していく必要があります。	

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	313
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,601,000	7,598,744		0		2,256	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
5,851,032		地域支援交付金（新総合事業以外）	2,925,516			
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	1,462,758			
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	1,462,758			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括ケアの推進に向けて、生活支援体制整備事業を実施しました。
委託料他 7,160,444円

1 生活支援コーディネーターの取組

市全体を第1層、旧町村を単位とする日常生活圏域を第2層とし、生活支援コーディネーターは第1層に1人、第2層の5地域にそれぞれ1人ずつ配置しています。各地域の課題を把握し、その課題の解決にむけた活動に取り組みながら、地域共生社会の実現を目指しました。

2 協議体の取組

コーディネーターが主体となり、介護予防・生活支援サービス提供団体等を委員とする協議体を5地域に設置し会議を開催しました。

第1層協議体会議 開催回数：2回 内容：生活支援体制整備事業の実施状況について

第2層協議体会議 開催回数：21回 内容：各団体の取組報告、地域主催サロンの支援、高齢者の移動支援の取組、支え合いの仕組みづくりについて

3 協議体研修会及び地域支え合い推進フォーラム

	協議体研修会	地域支え合い推進フォーラム
開催日	令和5年9月6日(水)	令和6年2月24日(土)
テーマ	協議体活動の原点と運営方法	地域の実践から地域共生社会を考える
内 容	生活支援体制整備事業の講演及びコーディネーターとの懇談	講演及び各地域の活動紹介
参加者	生活支援コーディネーター、市社協職員、市職員 計13名	生活支援コーディネーター、区長、民生委員、シニアクラブ会員、介護保険事業者、市職員等 110名

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費		施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
4 通いの場・生活支援サービスガイドブックの作成（印刷製本費：432,300円） 介護予防・フレイル予防に取り組むきっかけとするため、地域の「通いの場」や高齢者の生活を支える「生活支援サービス」の情報（掲載団体数291）をまとめたガイドブックを改訂、作成しました。3,000部作成し、市民、関係者、市窓口で周知しました。	
上記の評価と課題等	
生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置により、身近な地域でのネットワークの仕組みづくりや、高齢者が地域で安心して生活するための地域課題を検討し、軽作業やサロンの立ち上げなどの地域支え合い活動を始めています。今後も、地域において支え合いや助け合いを広げるため、庁内関係部署と連携して協議体活動を進め、地域包括ケア体制の充実を図ります。	

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	313
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100114	認知症総合支援事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
366, 000		365, 690		0		310		99. 9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
281, 580			地域支援交付金（新総合事業以外）		140, 790					
			地域支援県交付金（新総合事業以外）		70, 395					
			地域支援事業繰入金（新総合事業以外）		70, 395					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括ケア推進に向けて、認知症総合支援事業を実施しました。

- 1 認知症初期集中支援事業（報酬、負担金他：188,040円）
「認知症初期集中支援チーム」を平成29年12月に設置以降、月1回チーム員会議を開催し、認知症で医療機関への受診や介護サービス等に繋がっていない方へ集中的に支援しました。
平成30年7月から月1回相談会を設け、令和5年度は延べ13件の相談があり、認知症専門医への受診や支援（介護サービス利用等）につなぐなど、より初期の段階から早期解決に向けた対応を行っています。

年度比較		令和3年度	令和4年度	令和5年度
チーム員 会議	実施回数	2回	11回	9回
	年度中新規支援件数	2人	2人	1人
	年間訪問延べ件数	6回	10回	5回
相談会	実施回数	9回	11回	7回
	年度中相談実人員	13人	16人	13人
	年度中相談延人員	18人	18人	13人

- 2 認知症カフェ運営助成（補助金：0円）
令和5年度は認知症カフェは1件ありましたが、補助金の活用の実績はありませんでした。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助件数	1件	1件	0件

- 3 オレンジキャンペーンの実施（借上料、需用費他：177,650円）
認知症の方が、周囲の理解協力のもと住み慣れた地域で暮らし続けられるために、9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、認知症地域支援推進員が中心となり安曇野市オレンジキャンペーンを実施しました。
内容としては、認知症に関する映画の上映会（74名参加）、認知症サポーター養成講座（77名参加）、本庁舎西側ベランダへ懸垂幕の設置、市役所1階西側ロビーに認知症に関する展示及び啓発資料の配布を行いました。また、市内5地域の図書館と連携し、認知症に関する文献とオレンジキャンペーンの紹介展示を実施するとともに、広報あづみのへ記事を掲載し認知症月間について周知しました。

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100114	認知症総合支援事業費		基本施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 高齢者見守りシール交付事業（需用費：0円）

認知症症状を有する人の安全の確保及び介護者等の精神的負担の軽減を図るために、高齢者見守りシール事業を令和4年度から実施しています。医療介護事業者、区長、民生委員等に周知し、令和5年度は新たに5件交付しました。

上記の評価と課題等

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症本人とその家族の視点に立ち、認知症への理解を深めるための啓発を継続します。また、早期に医療や介護サービス等に繋がるよう引き続き、地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生児童委員等と連携を図り支援を行っていきます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	313
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
49,000		49,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
37,729			地域支援交付金（新総合事業以外）		18,865					
			地域支援県交付金（新総合事業以外）		9,432					
			地域支援事業繰入金（新総合事業以外）		9,432					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

保健、医療、福祉サービス及び社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアの推進に向けて、安曇野市地域包括ケア推進会議を開催しました。

- 地域包括ケア推進会議（報償費：49,000 円）
- (1) 開催日 令和6年3月8日
- (2) 協議事項
- ・安曇野市の地域包括ケアシステムの取組について
 - ・地域課題の意見交換「身寄りのない高齢者が安心して暮らせる地域づくり」

上記の評価と課題等

地域包括ケア推進会議では、これまでの地域包括ケアの取組を評価する中で、住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けられるよう、医療、介護、福祉、地域の関係者とともに、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の充実に向け、協議を進めます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	315
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
27,869,000		27,866,500		0		2,500		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
21,457,204			地域支援交付金（新総合事業）		5,573,300		総合事業現年度分調整交付金		1,393,325	
			支払基金支援交付金現年度分		7,523,955					
			地域支援県交付金（新総合事業）		3,483,312					
			地域支援事業繰入金（新総合事業）		3,483,312					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括支援センターにおいて、介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援認定者に対する介護予防ケアマネジメントを実施しています。直営の中央地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメント業務の一部を民間の指定介護支援事業所へ委託しており、令和5年度末において29事業所に委託しました。

また、市から社会福祉協議会に委託している北部地域包括支援センター及び南部地域包括支援センターが行う介護予防ケアマネジメント費については負担金として国保連へ支出しました。

1 民間の指定居宅介護支援事業所への委託料（総合事業直営分）（但し過誤精算分を含む）

年度	新規	継続	金額
令和5年度	74 件	1,868 件	8,706,500 円
令和4年度	82 件	1,840 件	8,663,500 円
令和3年度	55 件	1,843 件	8,407,440 円

2 介護予防ケアマネジメント費負担金（県国保連に支出分）

年度	負担金額
令和5年度	16,200,960 円
令和4年度	14,472,486 円
令和3年度	15,016,467 円

上記の評価と課題等

今後も利用者数が一定の水準で維持されると予想されるため、業務の一部を指定居宅介護支援事業所へ委託します。事業所のケアマネジャーに助言・指導を行うことにより適正な介護予防ケアマネジメントに努めていきます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	315
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
307,907,000	307,903,811	0	3,189	100.0%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
263,559,154		地域支援交付金（新総合事業）	61,580,762	総合事業現年度分調整交付金	15,292,675
		支払基金支援交付金現年度分	83,134,028	保険者機能強化推進交付金	12,114,000
		地域支援県交付金（新総合事業）	38,487,976	介護保険保険者努力支援交付金	14,462,000
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	38,487,713		

主要な施策（事務事業）の成果の概要				
介護予防及び地域における自立した日常生活支援を行い、活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防・生活支援サービス事業を実施しました。				
利用実績は以下のとおりです。（上段：決算額、下段：延べ利用者数）				
第一号訪問事業	サービス種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	訪問介護相当サービス （旧予防給付と同等サービス）	56,385,738 円 2,755 人	62,601,148 円 2,937 人	64,648,302 円 3,004 人
	訪問型サービスA （人員基準を緩和した生活援助）	11,057,570 円 1,160 人	9,489,696 円 1,007 人	9,155,924 円 921 人
	訪問型サービスC （運動機能向上短期集中サービス）	15,280 円 2 人	0 円 0 人	30,560 円 4 人
第一号通所事業	訪問型サービスC （口腔機能向上短期集中サービス）	－ 円 10 人	－ 円 4 人	7,000 円 8 人
	通所介護相当サービス （旧予防給付と同等サービス）	201,762,092 円 7,956 人	196,571,241 円 7,691 人	223,825,472 円 8,800 人
	通所型サービスA （人員基準を満たした生活援助）	11,948,334 円 1,031 人	11,008,825 円 945 人	9,878,733 円 763 人
	通所型サービスC （運動機能向上短期集中サービス）	80,000 円 20 人	0 円 0 人	0 円 0 人
＊訪問型サービスC（口腔）は、年度途中まで当課の会計年度任用職員（歯科衛生士）が実施し、年度途中より在宅歯科衛生士へ報償費（1件）として支払いがありました。				
上記の評価と課題等				
訪問介護、通所介護相当サービス利用者は共に増加している一方、訪問型、通所型サービスAは共に減少しています。介護予防が必要な人にその人の適正にあった必要なサービス提供が行われるよう、自立支援に向けたケアマネジメントを推進します。				
短期集中的に専門職が関わり機能改善を図るサービスであるサービスCは、利用者が少ないため、必要な方にサービスが提供できるよう事業周知を図っていきます。				

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	315
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	04	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料等			
	事業	3100082	高額介護予防サービス費相当事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
1,906,000	1,005,614		0	900,386	52.8%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
774,320		地域支援交付金（新総合事業）		201,123	総合事業現年度分調整交付金	50,280
		支払基金支援交付金現年度分		271,515		
		地域支援県交付金（新総合事業）		125,701		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）		125,701		

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	315
------------	-----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	04	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料等			
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
987, 000		986, 464		0		536		99. 9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
759, 576			地域支援交付金（新総合事業）		197, 292		総合事業現年度分調整交付金		49, 323	
			支払基金支援交付金現年度分		266, 345					
			地域支援県交付金（新総合事業）		123, 308					
			地域支援事業繰入金（新総合事業）		123, 308					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保連合会に対し、介護予防・日常生活支援総合事業分の審査支払手数料を支払いました。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支払金額	933,278 円	910,716 円	986,464 円
支払件数	16,091 件	15,702 件	17,008 件

* 審査単価 58円/1件

上記の評価と課題等

審査件数は、利用者の増加により増加しています。

令和6年度		決算書 ページ	315
部	福祉部		
課	高齢者介護課		
係等	介護予防担当		

予算	款	04	介護サービス事業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	介護予防支援事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防支援事業		施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100108	介護サービス事業費			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
20,537,000		20,537,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
20,537,000			介護予防サービス計画費収入		20,537,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市直営の中央地域包括支援センターは指定介護予防支援事業所として、介護予防支援業務を実施しています。要支援1・2の方を対象に介護予防サービス計画の作成、介護予防サービス事業者等関係機関との連絡調整を行いました。この指定介護予防支援業務は一部を民間の指定居宅介護支援事業所へ委託しており、令和5年度末において37事業所に委託しました。

介護予防サービス計画費の収支状況

1 民間の指定居宅介護支援事業所への委託料（支出）（但し過誤精算分を含む）

年度	新規	継続	金額
令和5年度	156 件	4,456 件	20,537,000 円
令和4年度	116 件	4,364 件	19,681,250 円
令和3年度	140 件	4,263 件	19,536,440 円

2 介護予防サービス計画費収入（収入）（但し過誤精算分、電子証明書発行手数料を含む）

年度	新規	継続	金額
令和5年度	139 件	4,680 件	21,829,380 円
令和4年度	109 件	4,646 件	21,537,900 円
令和3年度	132 件	4,635 件	21,482,870 円

※

※残額の1,292,380円を包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に充当

上記の評価と課題等

今後も利用者数が一定の水準で維持されると予想されるため、業務の一部を指定居宅介護支援事業所へ委託し、事業所のケアマネジャーに助言・指導を行うことにより適正な実施に努めていきます。

令和 6 年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	315
------------	-----

予算	款	05	保健福祉事業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	保健福祉事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	支え合い事業体制整備事業費			
	事業	3100118	保健福祉事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
300,000	300,000		0	0	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名	金 額	細 節 名	金 額
300,000		保険者機能強化推進交付金	300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 支え合い整備事業補助金

生活支援や介護予防の取り組みを始めたい団体への備品購入や施設整備への補助を行い、活動の立ち上げを支援しました。1 団体に補助を行い、累計32団体になりました。

年度比較	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
交付額	548,400 円	650,900 円	300,000 円
補助団体数	2 件	3 件	1 件

令和 5 年度事業実績

団体名	事業内容	主な補助内容	補助対象経費	補助金額
中堀区	高齢者サロン	備品購入、施設整備	662,200 円	300,000 円

中堀区では高齢者サロンの参加者が公民館に気軽に集まれるように、公民館の玄関にスロープを設置したり、廊下やトイレに手すりを設置しました。利用者からは「歩きやすい」「よかった」という声がありました。

上記の評価と課題等

高齢者も含めた地域住民が自ら活動し、それが生きがいを持って生活することにつながるなど、地域の活動の拠点等に補助することで、地域共生社会の実現に向けた取組になっています。

今後、このような取り組みを先進例としながら、各地域の生活支援コーディネーターとも連携し他の地域でのサロン活動の新規立ち上げや活動の推進を支援していきます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	317
------------	-----

予算	款	06	基金積立金	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	基金積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金			
	事業	3100110	介護保険支払準備基金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
138,033,000		138,032,589		0		411		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
1,685,589			支払準備基金利子		1,685,589					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和4年度の給付費繰越金から介護給付費負担金返還分、支払基金交付金返還分を除いた余剰金を基金として積立てました。

基金積立金額

年度	利子	積立額	基金残額
令和5年度	1,685,589 円	136,347,000 円	1,141,547,225 円
令和4年度	1,303,762 円	138,073,000 円	1,003,514,636 円
令和3年度	1,328,082 円	126,101,000 円	864,137,874 円

上記の評価と課題等

令和5年度の積立残額は、1,141,517,225円で、昨年度より138,032,589円増えています。

令和 6 年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	317
------------	-----

予 算	款	08	諸支出金	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目 標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100140	第 1 号被保険者保険料還付金		施 策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1, 333, 000	1, 332, 140		0	860	99. 9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名	金 額	細 節 名	金 額

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
過年度分保険料の過誤納分を還付しました。 1 還付金 131 件 1, 332, 140 円	
上記の評価と課題等	

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	317
------------	-----

予算	款	08	諸支出金	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100141	償還金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
72, 224, 000	72, 223, 089		0		911	100. 0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要									
国庫負担金、県費負担金及び支払基金交付金の超過交付分の返還を行いました。									
1 令和5年度中の返還金内訳									
<table> <tr> <td>令和4年度介護給付費負担金（国庫）</td><td>46, 852, 624 円</td></tr> <tr> <td>令和4年度介護給付費県費負担金</td><td>4, 562, 593 円</td></tr> <tr> <td>令和4年度支払基金交付金</td><td>20, 807, 872 円</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>72, 223, 089 円</td></tr> </table>		令和4年度介護給付費負担金（国庫）	46, 852, 624 円	令和4年度介護給付費県費負担金	4, 562, 593 円	令和4年度支払基金交付金	20, 807, 872 円	合 計	72, 223, 089 円
令和4年度介護給付費負担金（国庫）	46, 852, 624 円								
令和4年度介護給付費県費負担金	4, 562, 593 円								
令和4年度支払基金交付金	20, 807, 872 円								
合 計	72, 223, 089 円								
2 <参考>返還金の状況									
<table> <tr> <td>令和5年度</td><td>72, 223, 089 円</td></tr> <tr> <td>令和4年度</td><td>81, 120, 414 円</td></tr> <tr> <td>令和3年度</td><td>9, 407, 422 円</td></tr> </table>		令和5年度	72, 223, 089 円	令和4年度	81, 120, 414 円	令和3年度	9, 407, 422 円		
令和5年度	72, 223, 089 円								
令和4年度	81, 120, 414 円								
令和3年度	9, 407, 422 円								
上記の評価と課題等									

令和 6 年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	317
------------	-----

予算	款	08	諸支出金	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす共生の街 安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100142	地域支援事業返還金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22, 385, 000	22, 384, 562		0	438	100. 0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域支援事業に係る国庫負担金、県費負担金及び支払基金交付金の超過交付分の返還を行いました。

1 令和 5 年度返還金内訳

年度比較	返還額
令和 4 年度地域支援事業交付金（国庫）	9, 062, 916 円
令和 4 年度地域支援事業交付金（県費）	5, 276, 454 円
令和 4 年度地域支援事業支援交付金（支払基金分）	8, 045, 192 円
計	22, 384, 562 円

2 ＜参考＞返還金の状況

年度比較	返還額
令和 5 年度	22, 384, 562 円
令和 4 年度	16, 957, 383 円
令和 3 年度	9, 684, 136 円

上記の評価と課題等

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	317
------------	-----

予算	款	09	予備費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	3100150	予備費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
282,634,000				0		282,634,000		0.0%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和5年度中に交付を受けた介護給付費負担金国庫支出金、介護給付費負担金県支出金、介護給付費交付金（支払基金交付金）及び地域支援事業関連交付金について、交付確定が翌年度（令和6年度）になることから、超過交付返還見込額を予備費として予算確保したものです。

また、介護保険料について、令和5年度介護保険事業の実績に基づき、第1号被保険者の事業費負担割合を超えて収入があった介護保険料について、予備費として予算確保したものです。

《参考》令和6年度返還金見込み額

返還金見込み内訳	金額（千円）
介護給付費負担金国庫支出金返還金	108,165
介護給付費支払基金交付金返還金	30,254
介護給付費負担金県支出金	59,647
地域支援事業交付金（国庫）返還金	4,670
地域支援事業支払基金交付金返還金	6,884
地域支援事業交付金（県費）返還金	2,451
合 計	212,071

上記の評価と課題等

令和6年度に返還金額が確定します。返還後の余剰金は、令和6年度に介護保険支払準備基金に積立てます。

